

CEFRとケンブリッジ英語検定

Common European Framework of Reference for Languages* (CEFR:ヨーロッパ言語共通参照枠)の開発にケンブリッジ大学英語検定機構が深く関与した歴史的経緯から、ケンブリッジ英語検定はCEFRと整合性が高く、学習者が目標とするCEFRのレベルに到達しているかを判定する際の基準となるテストとして世界中で活用されています。

Cambridge Englishスケールで試験間の比較が可能に

2015年1月より導入されたスケールにより、4技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)及び文法・語彙知識**での各成績がスコアで表示されるため、受検者はより詳細な情報を得ることができます。この共通基準により、ケンブリッジ英語検定の各試験、IELTS(アイエルツ)、CEFRとの比較が分かり易く示されるようになりました。

例えば、スコアが180-199ならばCEFRのC1レベルに相当します。つまりC1レベルで最も低い受検者のスコアは180になります。B2 First/First for Schools、C1 Advanced、C2 Proficiencyの異なるレベルの試験で同じスコアの場合、学習到達度は同等とみなされますが、上級レベルの試験はより高度な認知プロセスと機能を網羅する出題となっている点にご留意下さい。なお、スコアが180の場合、B2 First/First for SchoolsはグレードA、C1 AdvancedはグレードCで合格ですが、C2 Proficiencyは不合格判定となりCEFRレベルのC1が認定証に記載されます。

*：2001年に Council of Europe (欧州評議会) が発表した言語運用レベルの基準

**：B2 First/First for Schools以上の試験のみ文法・語彙知識に関する出題あり

ケンブリッジ英語検定 ペア型スピーキングテストの特長

ケンブリッジ英語検定は1913年に始まり、100年以上の歴史があります。スピーキングテストも開始当時は1時間かけてテストをしていましたが、その時代でベストと思われる形式へと改良を重ね進化を遂げてきました。現在では、A2 Key/Key for SchoolsからC2 Proficiencyまでスピーキングテストは対面式で、試験官2名と受検者2名で原則行う形式で実施されています。



試験官2名のうち1名は質問役と全体評価を担当、もう1名は評価スケールごとに評価を行い、会話に加わることはありません。試験官とのやり取りだけではなく、受検者同士のやり取りを評価の対象とすることで、より実生活に近い環境でスピーキング力を測る工夫が施されています。以下、B1 Preliminary for Schoolsを例にご紹介します。

パート1. (導入タスク)：受検者は、一般的なやり取りや社交的な言語を使って、試験官の質問に答える。

例) 名前や、「どこに住んでいますか」「あなたの先生についてお話ししてください」等、受検者は個別に質問を受ける。

パート2. (個別タスク)：異なる写真が渡され、それを見て1分間相手に説明。

例) 「(何かの)方法を学んでいる人」を表す写真について説明する。(=話すこと【発表】)

パート3. (協力タスク)：与えられたイラストを見ながら、質問に対する自分の考えを述べ、もう一人の受検者と「やり取り」をする。

例) 小さな村の生徒たちが首都である大きな都市に旅行します。(首都で行うアクティビティについて)どのアクティビティができそうか、中でも一番面白いのは何かについて二人で話し合う。(=話すこと【やり取り】)

パート4. (ディスカッション)：好きなこと/嫌いな事、好み、習慣等について話し合う、賛成/反対意見を述べる。

例) 旅行に行くとしたら友達と行きたいですか?それとも家族と行きたいですか?その理由は?

Cambridge Assessment Englishの動画サイトCambridgeenglishtvでスピーキングテストの様子を視聴できます：www.youtube.com/user/cambridgeenglishtv

学習指導要領との関連性 4技能それぞれに高い親和性がみられますが、ここではスピーキングの例をご紹介します。

高等学校学習指導要領 第8節外国語	ケンブリッジ英語検定 B1 Preliminary/Preliminary for Schools (中高生対象)
[言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする： ・相づちを打つ・聞き直す・繰り返す ・言い換える・話題を進展させる・話題を変える、 など	質問役の試験官は全体評価のみ、もう一人の試験官は 1. Pronunciation (発音) 2. Grammar and Vocabulary (文法・語彙) 3. Interactive Communication (相互コミュニケーション) 4. Discourse Management (談話管理)の4つの評価スケールで、 試験官と受検者、受検者間でのやりとりを採点する。4.では、話す内容に論理的かつ首尾一貫性が見られるか(coherence and cohesion)、関連性(relevance)があるか、同じアイデアの繰り返し(repetition)ではなく、トピックを進展させる新しいアイデアの導入はあるか、などが評価項目になる。 ※ 3. Interactive Communication (相互コミュニケーション) で評価される項目 ① Development of the interaction (積極的な会話の展開) ② Initiating & Responding (会話のイニシアチブ、相手の発言への反応) ③ Prompting & Supporting (相手の発言を引き出すスキル) ④ Turn and Simple exchange (会話の基本: 発話・応答の役割)

認定証が発行されるスコア範囲

Cambridge Englishスケールで示されているスコア範囲には、認定証が発行されないスコアも含まれています。例えば、B2 First/B2 First for Schoolsの試験では、スコアが160-190の場合は合格のグレードとCEFRレベル (160-179はレベルB2、180-190はレベルC1) が記載されます。140-159の場合は不合格になりますが、CEFRレベルのレベルB1が記載されるので英語力の証明にお使いいただくことが可能です。スコアが122-139の場合は結果ステートメントにスコアは記載されますが、認定証の発行はありません。

全受検者に「結果ステートメント (Statement of Results)」が発行されます。さらに該当者には「認定証 (Certificate)」も発行されますが、どちらにも次の内容が記載されています。右は、C1 Advanced受検者の結果ステートメントの例です。

結果ステートメントに記載される情報：

- Cambridge Englishスケールでの総合評価スコア
- 技能別(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)および文法・語彙問題 (Use of English) の Cambridge Englishスケール各スコア
- 合格のグレード
- CEFRレベル

さらにB2 First/First for Schools、C1 Advanced、C2 Proficiencyの認定証には、英国資格指標 (NQF:UK National Qualifications Framework) のレベルも記載されます。



2019年9月現在の認定証 (Certificate) のサンプル

Cambridge Assessment English

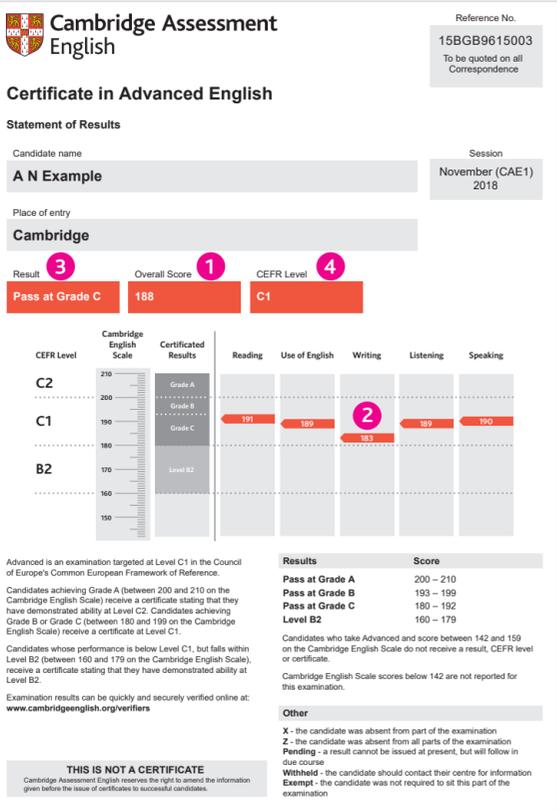
ケンブリッジ大学英語検定機構
試験開発部門 日本統括オフィス
Email: InfoJapan@cambridgeenglishreps.org
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-21-1
ヒューリック神田橋ビル9階
ケンブリッジ大学出版株式会社
T: 03-3518-8276
F: 03-3518-8274
www.cambridgeenglish.org (English)
www.cambridgeenglish.org/jp (日本語)

cambridgeenglish.org

[/CambridgeEnglish](https://www.facebook.com/CambridgeEnglish)

[/CambridgeEnglishTV](https://www.youtube.com/CambridgeEnglishTV)

[/CambridgeEng](https://www.facebook.com/CambridgeEng)



Cambridge Assessment English



ケンブリッジ英語検定とスケールスコアについて

Cambridge English Qualifications and the Cambridge English Scale

A2 Key
A2 Key for Schools
B1 Preliminary
B1 Preliminary for Schools

2020年1月改訂 対応版

Pre A1 Starters, A1 Movers and A2 Flyers
ヤングラーナーズ対象の試験: PB

Pre A1 Starters	スターターズ	約45分	A1 Movers	ムーバーズ	約62分	A2 Flyers	フライヤーズ	約74分			
リスニング 20分	1 ストーリーを聞いて説明と一致する絵の中の人物と名前を線でつなぐ 2 数字と綴りを聞く。数字と名前を書く 3 さまざまな種類の特定の情報を聞く。ボックスにチェックする 4 単語、色、前置詞を聞いて絵の中から正しいものを選んで色をぬって答える	25分	1 ストーリーを聞いて説明と一致する絵の中の人物と名前を線でつなぐ 2 名前、綴り、その他の情報を聞いて単語や数字を記入する。 3 単語、名前、詳しい説明を聞いて絵と文章が合っているか答える (フライヤーズと同じ) 4 説明通りの絵を選び、ボックスにチェックして答える 5 単語、色、特定の情報を聞いて色を塗ったり単語を書く (絵を描くタスクなし)	25分	1 ストーリーを聞いて説明と一致する絵の中の人物と名前を線でつなぐ 2 名前、綴り、その他の情報を聞いて単語や数字を記入する。 3 単語、名前、詳しい説明を聞いて絵と文章が合っているか答える (フライヤーズと同じ) 4 説明通りの絵を選び、ボックスにチェックして答える 5 単語、色、特定の情報を聞いて色を塗ったり単語を書く (絵を描くタスクなし)	40分	1 短いストーリーの空所に適語 (イラスト付) を選んで答え、そのストーリーにタイトルをつける (旧版のパート4) 2 短文の空所に選択肢から適語を選んで単語を書き写して答える (旧版のパート6) 3 文章を読み、1~3語の適語を探して文書を作成させる (10題から7題へ変更) 4 短いテキストを読み空欄に適語を補充して完成させる (旧版のパート7) 5 文章を読み、1~4語の適語を探して文書を作成させる (10題から7題へ変更) 6 絵を見て文章を作成させ、質問に答えて絵について作文する 7 3枚の絵をベースに短い文章を書く	40分	1 単語とそれを説明する文章とを合わせる (6題から5題へ変更) 2 対話を読み、質問に対する正しい答え (A-Hから選んで) 答える (旧版のパート3) 3 短いストーリーの空所に適語 (イラスト付) を選んで答え、そのストーリーにタイトルをつける (旧版のパート4) 4 短文の空所に選択肢から適語を選んで単語を書き写して答える (旧版のパート6) 5 文章を読み、1~4語の適語を探して文書を作成させる (10題から7題へ変更) 6 絵を見て文章を作成させ、質問に答えて絵について作文する 7 3枚の絵をベースに短い文章を書く	40分	1 単語とそれを説明する文章とを合わせる (6題から5題へ変更) 2 対話を読み、質問に対する正しい答え (A-Hから選んで) 答える (旧版のパート3) 3 短いストーリーの空所に適語 (イラスト付) を選んで答え、そのストーリーにタイトルをつける (旧版のパート4) 4 短文の空所に選択肢から適語を選んで単語を書き写して答える (旧版のパート6) 5 文章を読み、1~4語の適語を探して文書を作成させる (10題から7題へ変更) 6 絵を見て文章を作成させ、質問に答えて絵について作文する 7 3枚の絵をベースに短い文章を書く
リーディング & ライティング 20分	1 文章を読んで単語の意味がわかる文章の真偽についてチェックXを記入する (単数形、複数形両方) 2 絵と絵の説明文が合っているかどうかをyes, noで答える 3 与えられた文字を並び替えて絵が表す物の名前を答える 4 イラストつきの短文を読み、その空所に適語を補充して答える 5 絵が表す物語について一語の単語で答える	30分	1 単語とそれを説明する文章とを合わせる (6題から5題へ変更) 2 対話を読み、質問に対する正しい答え (A-Hから選んで) 答える (旧版のパート3) 3 短いストーリーの空所に適語 (イラスト付) を選んで答え、そのストーリーにタイトルをつける (旧版のパート4) 4 短文の空所に選択肢から適語を選んで単語を書き写して答える (旧版のパート6) 5 文章を読み、1~3語の適語を探して文書を作成させる (10題から7題へ変更) 6 絵を見て文章を作成させ、質問に答えて絵について作文する 7 3枚の絵をベースに短い文章を書く	40分	1 単語とそれを説明する文章とを合わせる (6題から5題へ変更) 2 対話を読み、質問に対する正しい答え (A-Hから選んで) 答える (旧版のパート3) 3 短いストーリーの空所に適語 (イラスト付) を選んで答え、そのストーリーにタイトルをつける (旧版のパート4) 4 短文の空所に選択肢から適語を選んで単語を書き写して答える (旧版のパート6) 5 文章を読み、1~3語の適語を探して文書を作成させる (10題から7題へ変更) 6 絵を見て文章を作成させ、質問に答えて絵について作文する 7 3枚の絵をベースに短い文章を書く						
スピーキング 3-5分	イントロ 受検者の名前を尋ねる 1 口頭で与えられる指示を理解しているか。絵の正しい部分を指し示す。指示に従い、絵カードにマークが描かれているイラストの上に置く 2 "Tell me about ..."を含む、口頭の質問に簡潔に答える 3 口頭で与えられる指示を理解しているか。物に関する質問に短く答える 4 自分自身について簡潔に答える	5-7分	イントロ 受検者の名前と年齢を尋ねる 1 2枚の絵を見て簡潔に説明をする。4つの異なる点を見つける 2 ストーリーの始まりを理解して一連の絵をもとにストーリーを繋げる。それぞれの絵について順をおって説明する 3 4枚の絵から仲間はずれを1枚選んで理由を述べる。 4 自分自身に関する質問を理解して応答する。自分自身について答える	7-9分	イントロ 受検者の名前 (姓名) と年齢を尋ねる 1 口頭で与えられる指示を理解して、試験官が持っている絵と受検者の絵とで6つの異なる点を見つける 2 質問に簡潔に答える。情報を引き出すため質問をする。人物、物、状況について質疑応答する 3 ストーリーの始まりを理解して一連の絵をもとにストーリーを繋げる。それぞれの絵について順をおって説明する 4 自分自身に関する質問を理解して応答する。自分自身について答える						

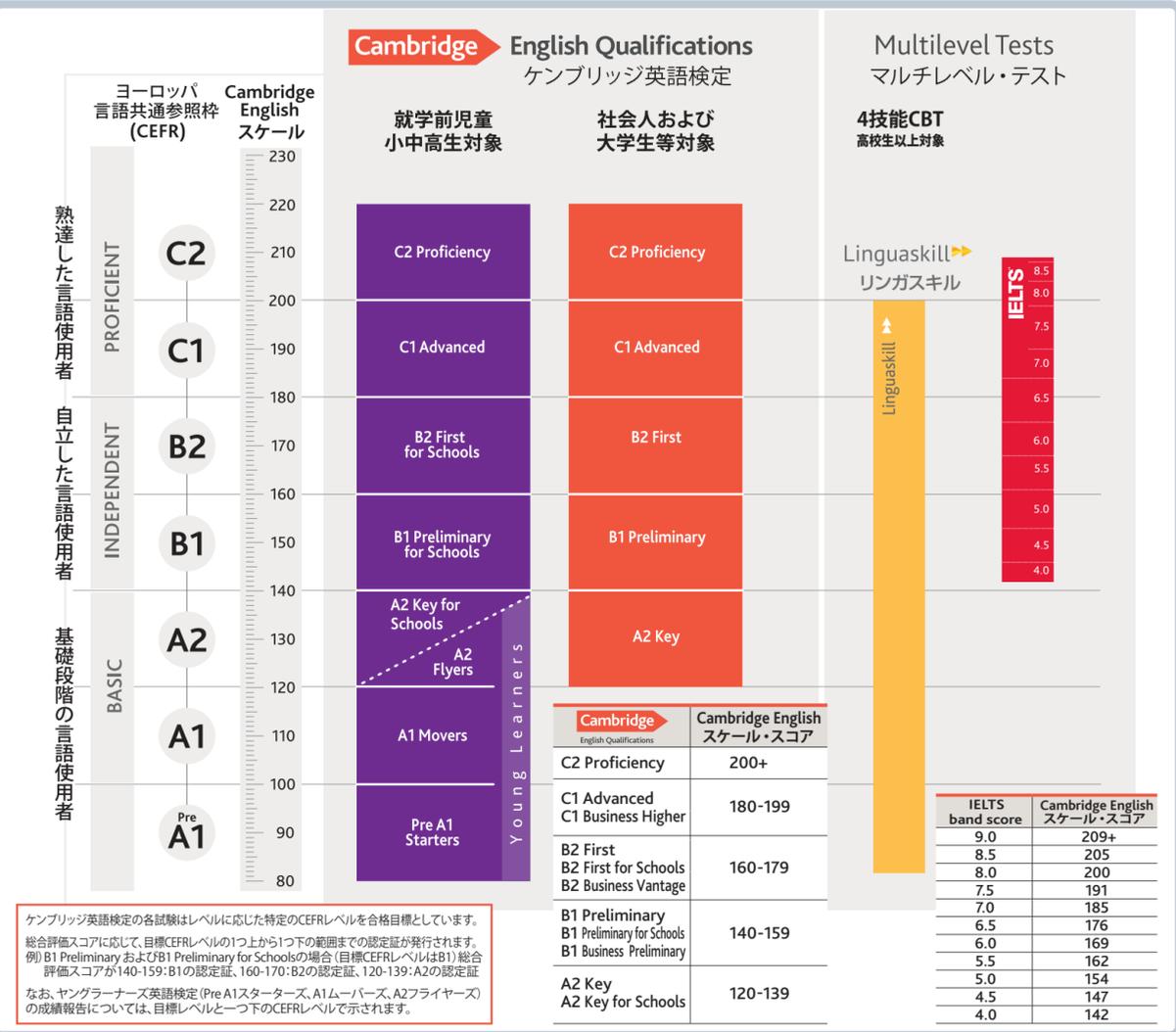
※ 試験官1名と受検者1名の対面式テスト

ケンブリッジ英語検定 A2 Key および A2 Key for Schools : PB,CB (計 約1時間40分)

問題用紙の種類	内容	測定されるスキル (出題意図)
リーディング & ライティング 60分 配点: 全体の50%	「読む」「書く」テストには7つのパートがあり、出題方法は次の通りです。 1. 短文に関する多肢選択式問題: 6つの短文を読み、2つのマッチング問題: 3つの短文を読み、特定の情報を抜き取る。 3. 長文に関する多肢選択式問題: 長文を読み、著者の考えなど、詳細な主旨まで様々な事柄を理解する。 4. 多肢選択式空所補充問題: 選択肢 (A,B,C) から正しいものを選んで空所を補充する。 5. 空所補充問題: 空所のある文章を読んで空所を補充する単語を書き入れる。 6. 短いメッセージを書く: 与えられた情報に応じたメッセージを25語以上で書く。 7. 短い物語を書く: 与えられた3つのイラストを基に物語 (story) を35語以上で書く。	1. さまざまな種類の短いテキストを理解する。 2. 速読し特定の情報を見つけて理解する。 3. 新聞や雑誌の記事にある長めのテキストを読み、本意を詳細に理解する。 4. 文脈内の単語を理解する。語彙にフォーカスされているか、文法知識も少し問われる。 5. 文法形式 (動詞、限定詞、代名詞など) と知識、句、節、文、段落レベルでの構造的関係について理解している。 6. 実際にコミュニケーションを図る目的で短いテキストを書くことができる。 7. 短い物語を書くことができる。 (A1~6&7) のライティング問題は「内容 (Content)」、「ことば (Language)」、「構成 (Organisation)」の3つの評価項目に照らして評価される。
リスニング 約30分 配点: 全体の25%	「聞く」テストには5つのパートがあり、出題方法は次の通りです。 1. 短文に関する多肢選択式問題: 5つの短いテキストを聞き、特定の情報を抜き出して選択肢 (A,B,C) の中から正しい写真を選ぶ。 2. 空所補充問題: 長めのテキストを聞き、欠けている情報 (単語、数、日時) を書き入れる。 3. 長文に関する多肢選択式問題: 長文のテキストを聞き、特定の情報や意見を聞き取る。 4. 多肢選択式問題: 5つの短いテキストを聞き、話者の考えやメッセージを聞き取る。 5. マッチング問題: 長めのテキストを聞き、特定の情報を抜き出す。	1. テキスト内の特定の情報を聞いて理解する。 2. 特定かつ詳細な情報を聞いて理解する。 3. 詳細な情報を聞いて理解する。 4. 中立的な言葉、もしくはフォーマルな言葉を含まないモノログや対話の要点を理解する必要があり、態度、意見、合意について正しく識別できる。録音された内容について、それぞれ単語、要旨またはトピックを聞き取る。 5. 詳細な情報を聞いて理解する。
スピーキング 約8-10分 受検者2名のペアで受ける 対面式テスト 配点: 全体の25%	「話す」テストには2つのパートがあります。 1. 導入段階 (introductory phase) や取りや社交的な言語。受検者自身に関する事実情報を伝えて、日常生活、興味、好きなものなどについて試験官の質問に答える。その後で "Tell me something about ..." について話して下し、説明し、表現する。あるトピックに関するタスク (collaborative task) 意見と比較し、説明し、表現する。あるトピックに関するイラストを使って受検者同士でディスカッションをする。 (受検者間のやり取り) 例) "holidays" (休日) その後、同じトピックについて試験官によるフォローアップのディスカッションを行う (試験官と受検者間のやり取り)	1. 受検者が自分自身に関する簡単な質問に答える力を評価する。相互コミュニケーション (やり取り)、社会的なことばの使用、スキルを確認。 2. 意見の内容ではなく、適切なことばの使用や、やり取りを行う受検者が用いるストラテジーが評価の対象になる。

PB : ペーパー版テスト CB : コンピューター版テスト ただし、CB版でもスピーキングテストは対面式 (試験官2名と受検者2名で原則行う形式)

Cambridge English スケールと各試験のスコア比較表



ケンブリッジ英語検定の各試験はレベルに応じた特定のCEFRレベルを合格目標としています。総合評価スコアに応じて、目標CEFRレベルの1つ上から1つ下の範囲までの認定証が発行されます。例) B1 Preliminary および B1 Preliminary for Schools の場合 (目標CEFRレベルはB1) 総合評価スコアが140-159: B1の認定証、160-170: B2の認定証、120-139: A2の認定証。なお、ヤングラーナーズ英語検定 (Pre A1スターターズ、A1ムーバーズ、A2フライヤーズ) の成績報告については、目標レベルと一つ下のCEFRレベルで示されます。

ケンブリッジ英語検定 B1 Preliminary および B1 Preliminary for Schools : PB,CB (計 約2時間12分)

問題用紙の種類	内容	測定されるスキル (出題意図)
リーディング 45分 配点: 全体の25%	「読む」テストには6つのパートがあり、出題方法は次の通りです。 1. 多肢選択式問題: 異なるタイプの5つの短いメッセージを理解する。 2. マッチング問題: 8つの短文から特定の情報を抜き出し、詳細な情報を読み取り5人の人物に関する記述とマッチングさせる。 3. 多肢選択式問題: 文章の概略をつかみ、全体と細部の意味、著者の態度や意見、感情などを読み取って、4つの選択肢 (A,B,C,D) から1つを選んで多肢選択式5題に答える。 4. 多肢選択式空所補充問題: 文章の概略と構造を理解する。正しい文を選んで空所を補充する。 5. 多肢選択式空所補充問題: 空所のある文章を読んで、選択肢 (A,B,C,D) から正しいものを選んで空所を補充する。 6. 空所補充問題: 空所のある文章を読んで、空所を補充する単語を書き入れる。	1. さまざまな種類の短いテキストを理解する。 2. 事実に関する資料を精読して理解する。 3. 作者の態度や意見、または作者が引用した意見、およびテキストを精読したり、全体の意味を捉えて理解することができる。 4. テキストの物語とそれに含まれる態度や意見を理解し、適切に構成された一貫性のあるテキストがどのように形成されるかについて理解する。 5. 空所補充問題では主に読解をテストするように設計されているが、文法知識の要素も含まれる。 6. 受検者の文法構造のみならず、句動詞や定型文の知識を問う。
ライティング 45分 配点: 全体の25%	「書く」テストには2つのパートがあり、出題方法は次の通りです。 1. Eメールを書く: 与えられた情報に答えるEメールを約100語で書く。 2. 記事または物語を書く: 与えられたトピックに関する記事 (article) または物語 (story) を約100語で書くタスク。	「書く」テストは必ずしも同じには限らない。 ・少々の誤りがあるにしても、時制、表現、語彙に留意して書くことが求められる。言語能力の全てを発揮し、意欲的に取り組むことが重要。 「コミュニケーションに影響を与えない誤り (Non-impeding errors)」は必ずしも減点の対象になるものではないが、コミュニケーションの妨げとなる誤りは、より厳しく採点される。
リスニング 約30分 配点: 全体の25%	「聞く」テストには4つのパートがあり、出題方法は次の通りです。 1. 多肢選択式問題: 7つの短いテキストを聞き、情報を抜き出して選択肢 (A,B,C) の中から正しい写真を選ぶ。 2. 多肢選択式問題: 6つの短いテキストを聞き、話者の態度や意見を聞き取る。選択肢 (A,B,C) から正しいものを選ぶ。 3. 空所補充問題: 長めのテキストを聞き、欠けている情報を空所に書き入れる。 4. 多肢選択式長文問題: 長いテキストを聞き、特定の情報、細部の意味、態度や意見を聞き取る。	1. テキスト内の特定の情報を聞いて理解することができる。 2. 要旨を聞き取ることができる。 3. テキストから特定の情報を見つけて記録することができる。 4. テキストの意味を詳細に理解することが求められる。
スピーキング 約12分 受検者2名のペアで受ける 対面式テスト 配点: 全体の25%	「話す」テストには4つのパートがあります。出題方法は次の通りです。 1. 導入段階: 受検者は、一般的な取りや社交的な言語を使って、試験官の質問に答える。 2. 個別タスク: 適切な言語を使い管理しながら、写真を基に時間を使って説明する。受検者に示される写真のテーマは必ずしも同じには限らない。 3. 協力タスク: 与えられたイラストを見ながら、機能言語を用いて提案、提案に対する応答、代替案について話し合い、推論、意見をまとめるための交渉を行う。 4. ディスカッション: 好きなこと、嫌いなこと、好み、習慣、意見について話し合う、賛成/反対意見を述べる。パート3は協力タスクに関連したトピックについて話し合う。	・評価スケールは「文法と語彙」「読解管理」「発音」「相互コミュニケーション (やり取り)」について評価。 1. 日常の設定で自発的にコミュニケーションを図ることができる。 2. 全ての基準に照らして評価。 3. 意見の内容ではなく、適切なことばの使用や、やり取りを行う受検者が用いるストラテジーが評価の対象になる。 4. 全ての基準に照らして評価。

***: 中高校生対象のケンブリッジ英語検定である「A2 Key for Schools」、「B1 Preliminary for Schools」、「B2 First for Schools」は、成人学習者を対象とするケンブリッジ英語検定の「A2 Key」「B1 Preliminary」「B2 First」と同じ形式かつレベルのテストですが、中高生の経験および関心に対応しており、中高生の受検者に配慮したより適切な試験内容になっています。

ケンブリッジ英語検定 B2 First および B2 First for Schools : PB,CB (計 約3時間29分)

問題用紙の種類	内容	測定されるスキル (出題意図)
リーディング & 文法・語彙 1時間 15分 配点: 全体の40%	パート1: 空所補充問題8問。選択肢から答えを選ぶ。 パート2: 穴埋め問題8問。 パート3: 空所補充問題8問。語幹が与えられ、必要に応じて変化させて答える。 パート4: 導入文と同じ意味になるように2-5語で文章を書き換える空所補充問題6問。 パート5: 読解問題6問。4つの選択肢から選んで答える。 パート6: 読解問題6問。文中から抽出された6文を元の位置に戻す作業。 パート7: 各設問に該当する長文あるいは複数の短文テキストの多重マッチング問題10問。中高校生にとって興味深いトピックに関するさまざまなテキストが用意されている。	読解力と文法及び語彙の知識のうち、 - 豊富な文法と語彙力をうまく使えるか - テキストの詳細まで読み込んだり、意見や感情、テキストの構成や主題を理解する豊富な読解力を求めているか をテストする。また、概要をつかむ速読力も求められる。
ライティング 1時間 20分 配点: 全体の20%	パート1は必修問題。与えられたアイデアと自分のアイデアを用いて140-190語のエッセイを書く。 パート2では、記事、メール、手紙、エッセイ、書評、物語など、4つの選択肢から1つ選んで140-190語で書く。(課題図書含む)	内容、コミュニケーションの達成度 (適切に内容を伝えているか)、構成、ことば (語彙と文法) の評価基準に照らして採点。
リスニング 約40分 配点: 全体の20%	パート1: それぞれ独立した内容のモノログあるいは会話文が8問出題される。選択肢から正しい内容を選んで答える。 パート2: モノログを聞いて適切な単語やフレーズを補充して10文完成させる。 パート3: 関連する5つの短いモノログを聞いて、選択肢から正しい内容を選んで5つの問題に答える。不要な選択肢あり。 パート4: インタビュー、もしくは二人の会話文を聞いて選択肢から正しい内容を選んで7つの問題に答える。	実生活で使える「英語を聞く力」について測る。全テキストの概要、情報や意見、詳細情報をとらえる力をテストする。
スピーキング 14分 受検者2名のペアで受ける 対面式テスト 配点: 全体の20%	パート1: 試験官と各受検者間で簡単な自己紹介等のやりとりをする。 パート2: 試験官が示す2枚の写真を見て各受検者が自分の言葉で約1分間説明する。その後写真の内容について試験官がもう一人の受検者との意見交換を行う。 パート3: もう一人の受検者とともに互いの意見を調整して意思決定するタスクを行う。 パート4: パート3のタスクに関連したトピックについて議論する。	発音、文法および語彙の駆使力、自分の意見をまとめる能力、いかにうまく議論に参加しているかなど、さまざまな側面についてテストする。

ケンブリッジ英語検定 C1 Advanced : PB,CB (計 約3時間55分)

問題用紙の種類	内容	測定されるスキル (出題意図)
リーディング & 文法・語彙 1時間 30分 配点: 全体の40%	パート1-3: テキストに基づく出題で、多肢選択問題8問、穴埋め問題8問、語幹が与えられ適切に変化させて答える空所補充問題8問。 パート4: 導入文と同じ意味になるように3-6語で文章を書き換える空所補充問題6問。 パート5: 読解問題6問。4つの選択肢から選んで答える。 パート6: 4つの短文に関する多重マッチング問題。 パート7: 読解問題6問。文中から抽出された6つの段落を元の位置に戻す作業。 パート8: 各設問に該当する長文または複数の短文テキストの多重マッチング問題10問。 テキストは専門的なものではなく、フィクションあるいはノンフィクションの題材。本質的にアカデミックなものも多く出題される。	読解力と文法および語彙の基本的知識をテストする。 - 語、句、文、テキストレベルでの多様なことば - 主題、特定の情報、テキスト構成、示唆する内容、トーンについてとらえる読解力
ライティング 1時間 30分 配点: 全体の20%	パート1は必修問題。問題文にある2つのポイントに基づいて220-260語のエッセイを書く。より重要なのはどのポイントか、そしてその主張を支える根拠について説明する。 パート2では、手紙、提案書、報告書、書評 (批評) 等、3つの選択肢から1つ選んで220-260語で書く。簡潔な文脈、トピック、目的、対象となる読者等がチェックされる。	内容、コミュニケーションの達成度 (適切に内容を伝えているか)、構成、ことば (語彙と文法) の評価基準に照らして採点。
リスニング 約40分 配点: 全体の20%	4つのパートに分かれており計30問。短い抽出文や長いモノログ、インタビューもしくはディスカッション、特定のテーマに関するモノログを聞いて答える。多肢選択問題、適切な単語やフレーズを補充して文章を完成させる問題や多重マッチング問題からなる。	実生活で使える「英語を聞く力」について広く測る。抽出文全体の概要、特定の情報、話者の意見や態度、感情等をとらえる力をテストする。
スピーキング 15分 受検者2名のペアで受ける 対面式テスト 配点: 全体の20%	パート1: 試験官と各受検者間で簡単な自己紹介等のやりとりをする。 パート2: 試験官が示す写真を見て受検者が自分の言葉で約1分間説明する。その後写真の内容について試験官がもう一人の受検者に質問をする。 パート3: 写真にまつわる情報や質問が記載されたカードが試験官より渡され、それをもとに受検者間でディスカッションを行う。 パート4: パート3のトピックに関連して、自分の意見の正当性を説明したり、前のパートよりさらに深い議論を行う。	文法、読解力のほか、発音、自分の意見をまとめる能力、議論を始める力や持続させる能力、交渉し議論に連する力等、多くの項目がテストされる。

ケンブリッジ英語検定 C2 Proficiency : PB,CB (計 約3時間56分)

問題用紙の種類	内容	測定されるスキル (出題意図)
リーディング & 文法・語彙 1時間 30分 配点: 全体の40%	パート1-3: 文法・語彙問題で空所補充問題 (多肢選択式、記述式各8問)、語幹から適切に変化させて答える問題8問。 パート4: テキストに基づく問題ではなく、与えられた単語を変化させずに用いて、導入文と同じ意味になるように3-8語で文章を書き換える問題6問。 パート5-7: 長めの読解問題3問。多肢選択式問題、空所補充 (段落)、多重マッチング問題。テキストは専門性が高く読者を対象としたものではなく、実生活で興味深いと思われ内容にトピックに取り上げられている。誰もに関心を持つ話題、学術的な傾向のもの、ビジネスに関連した内容など。	パート1-4で測っているのは、受検者の基本的な語彙と文法知識。 主にパート1は語彙、パート2は文法、パート3はいかに接辞が語形構成に影響を与えるかについて問う。パラフレーズや文脈から意味をとらえる等のサブスキルが必要となる問題。 かなり詳細まで読み込む読解スキルが求められる。例えば、議論が一貫性、結合を理解しているか、特定の情報を抜き出し、スキム・リーディング (斜め読み) など。
ライティング 1時間 30分 配点: 全体の20%	パート1は必修問題。2つの短文 (約100語) を読んで主要な意見をまとめて240-280語のエッセイを書く。 パート2は、記事、手紙、報告書、エッセイ、書評 (課題図書含む) の5つの選択肢から1つ選んで280-320語で書く。	あるトピックについて上手く意見をまとめて発展させることができるか、文章を通じて読み手に深い印象を与えられるか、言葉の使い方、書く課題の目的をどれほど上手く達成しているかについてテストする。
リスニング 40分 配点: 全体の20%	パート1: 3つの短い抽出文を聞き2問ずつ3つの選択肢から選ぶ。6問。 パート2: 3-4分間のモノログを聞き適切な単語やフレーズを補充して9つの文章を完成させる。 パート3: 3-4分間にわたる会話文を聞き4つの選択肢から選ぶ。 パート4: モノログ (各約35秒) を聞いて多重マッチング問題10問に答える。 (ここで扱うことばは) ビジネス・シーンや大学で使うものであったり、選り歩いていて遭遇する種類のものであるかもしれないなど、多岐に達している。	実生活で使える「英語を聞く力」について広く測る。抽出文全体の概要、特定のトピックに関する詳細情報、話者の意見等をとらえる力をテストする。
スピーキング 16分 受検者2名のペアで受ける 対面式テスト 配点: 全体の20%	パート1: 試験官と各受検者間で簡単な自己紹介等のやりとりをする。 パート2: もう一人の受検者とともに試験官が示す写真に関するタスクに取組む。 パート3: 写真にまつわる情報や質問が記載されたカードが試験官より渡され、受検者はそれぞれ自分の考えを述べる。その後、その実生活に関連したテーマについて、試験官、受検者の3者間でディスカッションを行う。	発音、抑揚、発話のスピード、自分の意見をまとめる能力、交渉力、議論を持続させる力等、多くの項目がテストされる。